

津島市DX推進計画【第二期 令和7年度～令和9年度】（概要版）

本計画の位置付け

第5次津島市総合計画に掲げる将来都市像である「～未来につなぐ～住んでみたい住んでよかったまち津島」の実現を、デジタル・トランスフォーメーションの側面から加速させるための計画であり、令和4年度から令和6年度までを対象とした第一期本計画の後継の計画となります。

当市の課題

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ① 住民サービスにおける低い効率性の改善 | ④ 情報セキュリティ上の脅威への対処 |
| ② 災害発生への平時からの備えの必要性 | ⑤ 職員数減少に伴う業務効率化 |
| ③ 情報発信手段の多様化への対応 | ⑥ デジタル利活用に向けた職員の能力開発 |

施策の視点

| | |
|---------------------------|---|
| 【視点①】 行政手続き等におけるDX | 行政サービス利用者の負担軽減や利便性の向上を図るため、各種行政手続きのオンライン化をこれまで以上に強力に進めていきます。 |
| 【視点②】 防災・観光分野におけるDX | 万が一、大規模災害等が発生した場合において、行政サービスの提供を継続できるよう、防災分野においてデジタル技術の利活用を更に進めていきます。また、全国に当市の魅力を十分にアピールしていくため、デジタル技術の進展に伴い年々多様化しているSNS等の情報発信手段を効果的に活用していきます。 |
| 【視点③】 業務効率化に向けたDX | 限られた経営資源の中で持続可能な行政サービスの提供を行えるよう、業務効率化等に向け、各種デジタル技術の導入及びそれらのデジタル技術を使いこなせる職員の育成を進めていきます。 |
| 【視点④】 セキュリティ向上のためのDX | セキュリティ対策の徹底を図り、市が保有するデータを適切に管理・使用していきます。 |
| 【視点⑤】 デジタルデバйд解消のためのDX | ICTを使える方とそうでない方との間に生じるデジタルデバйд(情報格差)の解消に努め、全ての方がデジタル化の恩恵を享受できる、利用者にやさしい行政サービスを目指していきます。 |

施策の全体像



5つの視点と個別施策

【視点①】行政手続き等におけるDX

- (1) 行政手続きのオンライン化 (2) 公金収納におけるeLTAXの活用について
(3) 公共施設予約システム

【視点②】防災・観光分野におけるDX

- (1) 防災DX (2) 被災者支援システム (3) ICT-BCPの検証 (4) SNSを活用した魅力発信

【視点③】業務効率化に向けたDX

- (1) 自治体情報システムの標準化・共通化 (2) 電子決裁システム
(3) 文書管理システム (4) 情報資産台帳の利活用
(5) 生成AI利活用検証 (6) AIチャットボット、AI-OCR、RPAの利用拡大
(7) デジタル人材育成研修 (8) 全職員対象のデジタル知識習得機会の提供
(9) 業務効率化に向けたシステム導入・活用の基礎研究

【視点④】セキュリティ向上のためのDX

- (1) セキュリティ対策の徹底

【視点⑤】デジタルデバйд解消のためのDX

- (1) デジタルデバйд(情報格差)の解消